



2021年11月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア イ ・ テ ッ ク
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 畑 大 輔
 (コード番号 9964 ・ JASDAQ)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 伏 見 好 史
 TEL (054) 337-2001

第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月13日に公表しました2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、直近の業績動向等を踏まえ、2021年5月13日に公表しました2022年3月期通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 35,880	百万円 958	百万円 1,005	百万円 638	円 銭 74.69
実績値(B)	37,935	3,144	3,164	2,005	234.80
増減額(B-A)	2,055	2,186	2,159	1,367	
増減率(%)	5.7	228.2	214.8	214.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	34,272	339	346	191	20.10

2. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 73,300	百万円 1,900	百万円 2,000	百万円 1,270	円 銭 148.67
今回修正予想(B)	74,000	4,900	5,000	3,240	390.13
増減額(B-A)	700	3,000	3,000	1,970	
増減率(%)	1.0	157.9	150.0	155.1	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	67,785	1,709	1,830	1,158	127.30

3. 2022年3月期 第2四半期累計期間の個別業績予想値と実績値との差異 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 34,900	百万円 653	百万円 424	円 銭 49.69
実績値(B)	36,814	2,734	1,733	203.03
増減額(B-A)	1,914	2,081	1,309	
増減率(%)	5.5	318.7	308.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	33,907	241	127	13.44

4. 2022年3月期通期個別業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	71,300	1,300	845	98.92
今回修正予想(B)	72,000	4,000	2,550	307.05
増減額(B-A)	700	2,700	1,705	
増減率(%)	1.0	207.7	201.8	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	65,600	1,111	736	80.97

5. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、鋼材の販売・加工事業については、世界的な鉄源不足を背景に昨年12月にスクラップ価格が急騰し、国内電炉メーカーは大幅な製品価格の値上げを発表いたしました。また、鉄鉱石や石炭等の資源価格も上昇していることから、国内高炉メーカーも追随するかたちとなりました。その後も、世界的に旺盛な鉄の需要からスクラップや資源価格は月を追うごとに値上がりをしており、更に国内においては自動車産業の回復に加え、低燃費船舶の需要増加から造船業も急回復しており、限られた鉄源の配分から、建材向け製品への供給量は大幅に削減されております。このような状況から、出荷量は伸び悩んだものの、鋼材価格は過去に経験した事のないような上昇となっております。これらの結果、鋼材の価格上昇により売上額が増加した事に加えて、夏場にはピークアウトすると想定していた鋼材市況は、今なお上昇しており、それに伴い、収益率も急上昇した事から営業利益は当初見込みを大幅に上回る結果となりました。鉄骨工事請負事業につきましても、工事進行基準適用の大型物件はオリンピック後の再開発物件等が徐々に動き始めており、進捗物件数も回復してまいりました。また、工事進捗につきましても概ね順調に進捗していることから営業利益は当初見込みを若干上回る結果となりました。なお、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益の増加によるものであります。

また、通期の業績予想につきましても、当第2四半期連結累計期間の業績及び足元の鋼材市況や需給状況等を勘案し修正いたします。今後も鋼材の販売・加工事業及び鉄骨工事請負事業共に堅調に推移するものと予想されるものの、中国経済の変調の兆しに加え、国内鋼材市況はかなりの高値圏にあることから、動向を注意深く見守って参ります。

なお、個別業績における差異及び修正の理由につきましても同様であります。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上